



府連通信
2017年10月号

日本中国友好協会
大阪府連合会
〒530-0012
大阪市北区
芝田2-3-19
東洋ビル本館207
TEL06-6372-8131
FAX06-6372-8132
郵便振替口座
00970-5-8978
E-mail: info@
jcfaosaka.org
http://
jcfaosaka.org/

コスモス咲く中で堺支部再スタート

2017年10月7日 コスモス
その後の記念講演には、45名の
が咲き乱れる美木多
の地に日中友好協会
の堺支部が再スタート
しました。 おり
しも、地域は秋のだ
んじり祭りの真っ最
中。太鼓の響きが門
出を祝福 会場となっ
た千手院の大広間に
は、会員や準会員が
早くから集い、あち
こちで話の花。



参加者があり盛況で
全日程を終えること
が出来ました。
大阪府連の全面的
なご支援を得て、無
事堺支部を再スタート
させることが出来
たことに感謝いたし
ます。また、他支部・
会員の皆様方の応援
にお礼申し上げます。
浅田 勝美
(堺支部代表)

「自然がいっぱい
の環境で、総会が持てるのは素晴
らしい！」との声。参加した皆様
は、のんびりした環境で、くつろ
いだ様子。
総会は、活動方針や規約などを
採択。閉会のあいさつを「一衣
帯水」の関係にある中国と友好・
交流を進めることは、夢が広がる
活動です。私は政令都市・堺で3
期目が誕生した竹山市政と、中国
の都市との友好活動はどうあるべ
きかを意見交換して探っていくた
いと考えています。」(浅田)と
述べ、総会を無事終えました。

第一回理事会を開催

11月5日午後2時から、国労会
館1階ホールで開催します。中国
語講座107期開講や堺支部の再
建などに取り組んできました。議
題は、府連大会以後の活動の総括
と、今後の取り組みを討議します。

訃報 広田仁吉さん

9月21日に死去、90歳でした。
22日に家族葬を行いました。
大阪府連では会計監査を続けら
れ、奈良へ転居後、奈良支部の結
成に尽力されました。明日香村議
(一期)を務められました。

難波宮趾で中秋明月祭

10月7日(土) 8日(日) 難波
宮趾で「中秋明月祭2017」が
開催されました。70近いテントブ
スには帰国者団体、友好団体、交
流団体などが出店し、たいへんな
賑わいでした。中央舞台では歌や
踊り、二胡や太極拳など様々な文
化が紹介されました。恒例のヤ
ンコ踊りは会場を練り歩き、熱気ム
ンムンの盛り上がりでした。帰国
者、在留中国人のパワーに圧倒さ
れました。

東大阪日中友好茶話会 超満員の盛況

今年の「日中友好茶話会」
は10月1日国慶節の日に設定
しました。ちなみに1949
年10月1日は土曜日でした。
会場の「かわち勤労会館」
は日本人23名と中国人と帰国
子女37名で超満員、中国語と
日本語が入り混じる和やかな



「茶話会」となりました。表題
の「茶話会」はどうも漢語では
使わないから、次回
からは「親
睦又は敦睦
茶会」が受
けが良いと
のこと、言
い回し、表
現をお教え
ください。
(松原弘太郎)

「戦地からの手紙―父と日中戦争」が語るもの

今年1937年に日本が中
国に侵略戦争を開始し、南京大
虐殺をおこなって80年です。日
中友好協会大阪府連と再出発し
た同府連女性部の主催で、10月
8日、表記の講演とシンポジウ
ムが、大阪市のドーンセンター
で開かれました。
65名の参加者は、興味深い講
演と、手紙やはがき、召集令状、
道します。(編集部)

西支部総会 最高の会員で開催

10月1日西支部総会が
25名参加して開催され、
太極拳教室の運営状況や
年二回のきりえ講習会行
事、組織目標60代後半を
達成したことなどが報告
され、参加者からそれぞ
れ発言がありました。
西支部ニュースは来年
1月で200号、HPは



あと500で30万ユー
ルに近づき(10月1
日現在) 記念の行事
も企画しようと提案
されました。
中国百科検定は西
支部学習会の成果が
表れ、2級・3級に
6名が合格、要員に
4名が参加しました。



日本軍遺棄毒ガス被害を考えるシンポジウム

戦時中、日本は毒ガス兵器を製造し、中国の戦場で使用しました。敗戦時にはそれらの毒ガス兵器を中国の河川や山野に国際法違反を逃れるために遺棄・隠蔽しました。戦後中国と日本では工事現場で知らずに掘削した人など多くの市民が被害を受けています。各地で重篤な障害だけでなく死亡者も出ています。毒ガスの被害は呼吸器疾患、皮膚疾患だけでなく、神経被害やガンの発生など深刻であることが明らかにされて報告されました。



京都シンポジウムは、被害の実態を多くの人に公開するため9月18日、122名が参加して京都大学国際ホールで開催され、開会挨拶に続き、遺棄毒ガス被害問題の概要について富永由紀子(弁護士)が報告、毒ガス被害の実態について藤井正實(内科医)・曾維民(神経内科医師)・磯野理(神経内科医師)と中国チチハル事件の被害者牛海英(女性)さんが

『80年目の南京』つどい結成集会

11月26日に天満橋のドーンセンターホールで開催される「80年目の南京」の結成集会が9月23日、ドーンセンター大会議室で開催され、会場いっぱい、立ち見も出て90名の参加でした。前半は、相可文代さん(「子どもたちに渡すなまぶなない教科書・大阪」事務局)による記念講演「道徳教科書の採択と教科書から消される南京」では、安倍政権や日本会議が、いかに歴史を改ざんした教科書の採択運動をすすめる、「道徳」の教科化の動きと教科書内容の実態が丁寧に図で説明され、よく理解できました。後半は、「80年目の南京」の取り組みの経過や意義、今後の取組提起を銘心会南京の松岡環さんが行い、つづいて5つの呼びかけ団体から成功めざす決意と連帯のアピールがなされ、それに呼応する決意みなぎる集会となりました。(松尾豊)

帰国者ってなに？体験と歴史を学ぶ

敗戦時、旧満州地区(中国東北部)には32万人の「残留邦人」がいた、とされます。敗戦の混乱と政府の無責任な対応によって正確な数字すらつかめていません。家族と離別し、孤児となり、中国の養父母に育てられたり、やむなく中国に残らざる得なくなつた方々です。中国では筆舌に尽くしがたい辛酸をなめ、日本政府から戸籍を抹消されるなど、切り捨てられ、帰国後も政府の無責任な対応で苦しい生活を強いられました。言葉の壁、生活習慣の違いによる困難や不安は想像を絶するものがあります。『帰国者』への理解を深めましょう！と日中友好協会規約にも明記されています。

「日中友好協会規約(活動及び事業) 第三条七、中国から帰国した日本人への協力と援助」

第二部では楽しい食文化交流が準備されています。中国語が話せなくても心配ありません。大いに交流を楽しみましょう！

11月9日(木)午後2時から6時、大阪帰国者センターで開催されます。講演は「中国残留邦人等の歴史と現状」大阪帰国者センター理事長 辻本角義・体験談は 王海峯さんの「中国残留日本人二世の体験」です。踊りはグループダンス、太極拳も表演します。4時からの食文化交流会の会費は千円、水餃子やお茶卵、サラダなどを楽しまします。申し込みは大阪府連事務局まで。(石井勉)

富田林市で太極拳

9月10日富田林市スポーツレクレーション祭りに参加しました。祭りのオープニングを要請され、日中友好富田林教室と西支部教室から21名が太極扇と棍術を20名が10組で表演しました。棍術と太極扇の中間に恒岡指導員による陳式簡化36式を表演しました。



スポーツ祭参加のため、事前に現地や各教室で練習を重ねてきました。「緊張して、真っ白になったけど終わってホッとした」「会場から拍手をもらって感激した」との感想や、表演終了後市長から「良かった」と恒岡さんに声がかかりました。

「80年目の南京」つどい

11/26(日)14:00~ドーンセンター大ホール
 新作ドキュメンタリー上映/証言/講演会
 「映像・外国人が見た南京大虐殺」
 元兵士証言「兵士が眼にした南京大虐殺」
 新聞記者のトーク「記者が報じた南京大虐殺」



2018年
 中国悠久之旅
 カレンダー発売中
 B3版13枚綴り
 定価1200円
 企画・制作
 日本中国友好協会